

大平台は浅間山中腹のやや開けた場所に広がる集落です。

大平台の氏神である山神神社の境内には、富士山信仰の伝統を物語る浅間大神の碑や、この地域で盛んだった箱根細工の職人たちが信仰した聖徳太子をまつる太子講の碑など、山間部の集落で営まれた昔ながらの暮らしに思いをはせることができるでしょう。

また、温泉がでなかった地域に、戦後になってようやく温泉が引かれると、大平台温泉として多くの温泉客が訪ねるようになりました。

日帰り温泉もあるので、ぶらりと訪ねてみてはいかがでしょうか？



みどころ 山神神社の石造物



山神神社の境内にはいくつかの石造物があります。聖徳太子を信仰する「太子講」の石碑、富士山信仰の「浅間大神」、庚申講の石碑など様々な石造物を見ることがができます。

YOSEGI-Chan



箱根町文化遺産活性化実行委員会

〒250-0315

神奈川県足柄下郡箱根町塔ノ沢 74 (福祉楼内)

監修 箱根町教育委員会

文化庁の令和 2 年度文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)の一環として作成しています。

はこね文化財ぶらりMAP BOXER



塔之澤温泉は江戸時代の箱根七湯の一つ。
江戸時代の塔之澤温泉へは阿弥陀寺下の山道を超えてゆく「七湯道」が使われました。

明治時代になり馬車や人力車が使われるようになると、明治 19 年(1886)には早川沿いに平坦な車道が開削され、温泉場に向かうのも大変便利になってゆきました。この車道が現在の国道 1 号です。

江戸の七湯道と国道 1 号を歩いて箱根近代化の道のりをたどってみましょう。



